



2022 年度 明治大学法学部
ハワイ大学春期法学研修報告書



目次

1. 教員あいさつ	P. 2
2. ハワイ大学について	P. 3
3. レクチャー	P. 4～5
4. フィールドトリップ	P. 6～7
5. ハワイ大学の先生紹介	P. 8
6. 平日のスケジュール	P. 9
7. 土日の過ごし方	P. 10
8. 観光とグルメ	P. 11
9. ハワイでの生活	P. 12
10. 研修概要 / 編集後記	P. 13

1. 教員あいさつ

海外への架け橋

法学部長 上野 正雄

法学部では、2013 年度からハワイ大学春期法学研修を実施しています。この研修では、ハワイ州唯一のロースクールである、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院において、英語で法律を学ぶほか、州内の法律事務所、裁判所および政府機関の見学や州法律家協会の行事に参加するなど、盛り沢山の充実した内容となっています。

ハワイは日系人が多いという特殊な土地柄であり、また観光地としても絶大な人気を誇る場所ですので、海外経験がないという方でも比較的大きな不安を抱えることなく生活ができます。また、とくに初めて海外留学する学生のために、事前のガイダンスや現地での通訳などのサポートが整っているため、英語力に不安のある学生も安心して参加できるプログラムです。

なお、このプログラムには、一部ですが、参加費について大学の補助も付されています。

ぜひ、ハワイ大学春期法学研修に参加し、この研修で得られた経験をもとに国際的視野を広げ、海外への架け橋を築いてください。

多言語社会・多文化社会で生きる知恵を学ぶ

法学部専任講師 水田 周平

ハワイ大学春期法学研修は、COVID-19 感染拡大のため、ここ数年はオンラインで実施してきましたが、2022 年度は、3 年ぶりに現地で実施することができました。研修参加者は、2 週間の滞在中に、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院の教授陣による講義、さまざまな施設の見学を通じて、現地での法運用の実態に直接触れることができ、多くの学びを得たことと思います。

ハワイにおいて英語で法律を学ぶことは、これまで語学として学んできた英語を、「道具」として実践的に用いる経験となり、英語力の強化に大いに役立つでしょう。しかし、ハワイで学ぶことの重要性は、そのことにとどまりません。

ハワイは、18 世紀にヨーロッパ人により「発見」されたのち、19 世紀以降、王国成立、海外との交易、中国・日本・ポルトガル等からの移民受入れ、米国への併合、第二次大戦時の戒厳令、州への昇格、リゾート地としての繁栄といった歴史を経て、さまざまな文化の混ざり合う、ユニークな社会を形成しました。その結果、ハワイの法制度は、アメリカ法としての一般的な特徴だけではなく、ハワイ固有の要素を併せ持つものとなっています。ところで日本の法制度も、明治以降、欧米の影響を受けて発展した結果、日本独特の要素と欧米の法制度の影響を強く受けた要素とからなっています。日本法の経験と対比しつつハワイの法制度を学ぶことは、日本の法制度をより深く理解することにつながるでしょう。また、多くの外国人を受け入れ多文化社会となりつつある日本社会について考えるうえでも、ハワイは多くの示唆を与えてくれるはずです。

2. ハワイ大学について

【ハワイ大学マノア校】

-アメリカ合衆国ハワイ州の州立大学

-1907年創立

-オアフ島のホノルルに位置

-大学のスローガン Maluna a'e o nā lāhui āpau ke ola ke kānaka (ハワイ語)

Above all nations is humanity 人間性は民族を超越する

-学生数：約18000人



【ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院】

-ハワイ州唯一のロースクール (アメリカでは学部はなく、大学院で法律を学ぶ)

-専任の教授は36人で、様々な国籍の教授がいる

-全米でも、環境法、ハワイ先住民法、アジア太平洋の各国法において高い研究レベルを誇る

-独自の図書館を持ち、学生は24時間利用可能



3. レクチャー

【講義の形式】

講義は基本的に英語で行われます。しかし、このハワイ大学春期法学研修では、引率の先生方が要点の説明を日本語で行いながら講義を進めます。この点は、明治大学で用意された他の法学研修のプログラムと異なり、英語力に自信のない人でも講義内容が理解できます。

また、講義の形式は先生によって異なります。学生が述べた意見に対しての質問を頻繁に行う先生、ディスカッションを求める先生など様々です。日本の大学の講義とは異なる点が多く、刺激的で貴重な時間を過ごすことができます。

【講義のスケジュール】

講義は1コマ90分です。1日3コマ講義があります。通常の講義に加え、キャンパスツアーや図書館ツアーなども行われます。

また、ロースクールの学生さんと会話する機会もあり、昼休みにはご飯を食べた後にキャンパス内をぶらつく余裕もあるため、ハワイ大学の雰囲気を十分に味わうことができます。

【講義の内容】

前半の講義のテーマ

アメリカ法入門	日米比較法	交渉	アメリカ憲法	刑法
図書館情報調査方法	国際刑法	高齢者（福祉）法		

はじめは、アメリカ法入門や日米比較法など、今まで学んできた日本法の知識などを活かして、アメリカ法の基礎を学ぶことができます。特に、交渉では、他大学の学生たちとペアになってディスカッションをします。これをきっかけに他大学の学生と仲良くなれます。

そして、国際刑法の先生は質問を頻繁に行うので、考える力が育ち、授業へ積極的に参加することができますでしょう。

高齢者法の授業では、独自の教科書をもらいます。高齢化社会である日本の法律とアメリカの法律を比較しながら、講義を聞くことができます。



後半の講義のテーマ

法的研究 日本における女性 契約 アジアにおける人権 環境法
--

「日本における女性」と「アジアにおける人権」は、日本で受けられる内容のように感じますが、アメリカから客観的に見たことを現地の言語でレクチャーしてくれることで、課題が見えてきて、考えるきっかけになります。

また、環境法は、ハワイらしくサンゴ礁に関わるが多く、サンゴ礁が豊富な場所が少ない日本とは違った観点で興味深かったです。

【講義を受けてみて】

留学に行く前は、海外留学は、言語力、特に英語の力がついていないといけないのかなと感じていました。実際現地に行ってみると、英語力はもちろん必要です。しかし、引率の先生が通訳をしてくださいますので、そこまで心配する必要はありません。そのうえで必要だなと感じたことは、「法律に関する知識」と「興味・関心」です。「法律に関する知識」は、一年生で学ぶ知識をしっかり頭の中に入れておけば、さらに深い学びになります。それよりも大切なことは、「興味・関心」です。自分にとっては、全部が興味をもっていたこと、関心があったことだったので、この留学期間が充実したものになりました。



4. フィールドトリップ

【State First Circuit Court】

アメリカの裁判制度は、日本とは大きく異なります。アメリカは連邦制の国であるため、連邦裁判所と州ごとの裁判所の二つに分かれています。こちらはハワイ州巡回裁判所です。ここで裁判官の方のお話を伺いました。私たちの質問に対しても丁寧に答えてくださり、とても興味深かったです。



【State Capital】

ホノルルにあるハワイ州会議事堂です。ここでハワイ州知事とお会いすることができました。また、ハワイ州の議員の方に州議会の会議室を案内していただきました。普段、日本では経験できないことでしたので、貴重な経験になりました。



【Law Firm】

ホノルルにある法律事務所で、実際にハワイで弁護士として働く日本人の方のお話を聞きました。そのお話では、どのような仕事をしているのかなど詳しく知ることができました。また、みなさん、カッコよく、同じ日本人として憧れましたし、将来について考えるきっかけになりました。

【Federal District Court】

連邦地方裁判所では、2人の女性裁判官から、裁判官の仕事のやりがいや大変さ、裁判官を目指した理由などのお話を伺いました。実務に携わっている方からこのようなお話を直接伺うことができる機会は滅多にないと思います。

とても貴重な経験ができたと思います。



【Oahu Community Correctional Center】

男性刑務所の施設内を見学しました。

受刑者の生活を目の当たりにし、衝撃を受けました。この研修でしかできない貴重な経験だったと思います。

学びが多く、非常に有意義な時間でした。

【State Supreme Court & Judicial History Museum】

右の写真の建物は、2階がハワイ州最高裁判所、1階が博物館になっています。

最高裁判所では、最高裁判事の方のお話を伺いました。

また、博物館では、ハワイの法律や歴史について学ぶことができました。



5. ハワイ大学の先生紹介

このページでは、ハワイ大学で私たちがお世話になった先生方について紹介します。皆様とても素敵な方々ですので、ハワイ研修に参加される際には、お会いするのを楽しみにしてください。



【Spencer Kimura 先生 出身：ハワイ大学法科大学院】

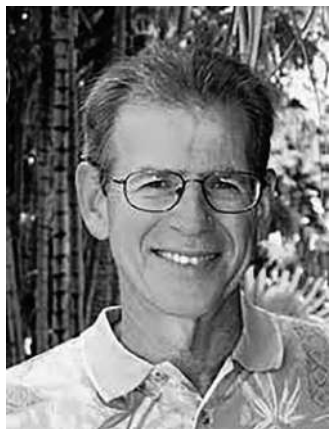
ハワイ大学研修において一番時間を共にする先生です。参加者全員にスペンサー先生と呼ばれて、とても親しみやすく接してくださる方です。毎日お菓子やコーヒーを差し入れてくださったり、授業が終わるごとに生徒たちに授業について質問して下さって、授業についていけているかを気にかけてくださったりしました。

また、フィールドトリップにも一緒に行って補助的説明もしてくださり、とても学習内容が頭に入りやすかったです。



【Mark A. Levin 先生 好きな日本の地下鉄：丸の内線】

授業をしてくださる先生の中で、唯一複数回講義をしてくださった先生です。日本に住んでいた時期もあり、日本語がかなりお上手です。その得意の日本語でのジョークや日本の駅員のものまねがとても面白いです。また学校名を覚えてくださっていて学校対抗で発言ごとにポイントを付与していました。明治大学は、一番ポイントを獲得しましたが笑顔以外は何もいただけませんでした。



【John Barkai 先生 特技：マジック】

2日目に Negotiation の授業を担当してくださいました。途中で見るビデオにご自身が出演していらしたり、特技の様々なマジックをしたりして、私たちを楽しませてくださいました。

6. 平日のスケジュール

基本授業が 8:30 スタートなので朝が早いですが、その分早く授業も終わるためハワイでの生活を存分に楽しむことができます。

7:00 頃	起床→朝食等の支度
7:40～8:00 頃	<u>バスで登校</u> Google Map でホテルから大学までの行き方が調べられるので、自分たちでホテルからの行き方を調べて行きます。また、常に遅延早着が反映されているので、Google Map を見ながらの行動をおすすめします！ バスは遅れることが多いので、始業時間の 30 分前着のバスに乗って登校していました。
8:30～11:45	<u>始業</u> お昼までは、通常 1 コマ 90 分の授業が 2 コマあり、間に 15 分の休憩があります。
11:45～13:30	<u>ランチ</u> 校内が広く、キッチンカーや食堂、その他飲食店等でランチを楽しむことができます。
13:30～15:00	<u>授業再開</u> 最後の 1 コマの授業です
15:00～	<u>授業終了→バスで下校</u> 授業後、再びバスに乗り下校します。 下校する際に、途中のバス停で下車して、お店に寄る日もありました！ <u>自由時間</u> 授業終了後は各自の自由時間です。 明治の学生や他大学の学生と集まって夕飯を食べていました！（先生が一緒にいる場合も…笑） 食事以外にも、ワイキキにホテルがあるため、ビーチを歩いたりショッピングをしたりして楽しみました。 *フィールドトリップの時は、授業時間が長くなるため、自由時間は短くなります <u>就寝</u> お風呂や明日の準備等をして就寝です。

7. 土日の過ごし方

一日空いている貴重な土日なので存分に楽しみました！

土曜日

午前	活動開始 ダイヤモンドヘッドの最寄りのバス停に行き、ファーマーズマーケットを見て回りました。そしてダイヤモンドヘッドに登りました！ 日差しが強くて暑かったですが、登ったあとの景色は最高でした！
午後	<u>ランチ</u> ダイヤモンドヘッド付近のレストランでランチを食べました！ 運動したあとだったのでアメリカンサイズもペロリでした笑 <u>個人時間</u> ホテルに帰って休む人、フラダンスショーを見る人、海に行く人。それぞれ集まったり、個人の時間を過ごしたりなど、自由な時間を楽しみました。 この日はホノルルフェスティバルというお祭りがホテルの近くで開催されており、お祭りも楽しむことができました！

日曜日

午前	この日は午後からみんなでツアーに参加するため、午前は、それぞれがショッピングや海を楽しむ、洗濯をするなど、自由に過ごしました。
午後	<u>ランチ</u> ツアー参加前にみんなで集まり、レストランでランチを食べました！ <u>ツアー開始</u> ジップラインツアーに参加しました！ハワイの山々の自然の中を滑り抜けるジップラインはとても楽しく、新鮮さ爽快さスリルの面で大満足でした！ガイドさんも優しく、ツアーを通して明治大学のメンバーともより仲良くなることができました！ <u>個人時間</u> ちょうど夕飯どきだったので、それぞれレストランで食べる人、テイクアウトしてホテルで食べる人に分かれ、夕飯を食べました。 そして、月曜日からまた始まる授業に備えました！

*最終日は金曜日でしたが授業がなく、自由な時間を過ごしました！

→最終日ということもあり、それぞれがお土産を買いに行ったり、他大学の参加者と交流したり、海に行ったりと、最後のハワイを満喫しました！

8. 観光とグルメ

【観光】

<ショッピング>

ハワイには、多くの商業施設があります。そのため、毎日歩くだけで、かわいい服や靴が見つかります。そのなかでもアラモアナセンターは大きな建物で、多くのお店がありました。先生方におすすめのショッピングセンターをきくと、皆さん口を揃えてアラモアナと言うほどです。

<自然>

ハワイで楽しめるのはショッピングだけではありません。ハワイの自然はとても印象的です。

まず、ビーチは毎日多くの人で賑わっている観光地の一つです。授業後や休日にサーフィンをして楽しむ友人もいました。また、毎週金曜日の夜には花火が打ち上がります。

そして、ダイヤモンドヘッドは自然を満喫できる場所です。片道 20 分ほどで頂上に到着します。青空の下に青い海と自然の緑が広がる絶景は忘れられません！

<体験>

ツアーに参加して、大自然の中で遊ぶこともできます。私たちは、ワイキキから約 40 分間タクシーに乗り、自然に囲まれた地域でジップラインをしました。優しいスタッフの方のサポートで楽しむことができました。



【グルメ】

ハワイのご飯はどれも美味しいものばかりです。ハンバーガーやポケ、ロコモコ、ガーリックシュリンプ、パンケーキ、アサイーボウル、マラサダなど、ハワイならではの飯を毎日食べていました。何度もリピートするものもありました。ハワイのご飯は量が多く、例えば、ハンバーガーは友達と分けて食べるのがちょうどよいサイズです。

また、ウルフギャングやチーズケーキファクトリーなどのレストランへ行く日もありました。レストランの料理はとても美味しかったです。学生のお財布には優しくない金額かもしれませんが。(笑)



9. ハワイでの生活

【宿泊施設】

「OHANA Waikiki East by Outrigger」というホテルに滞在しました。2名1部屋になり、約2週間の生活を送りました。一緒に研修に参加したメンバー全員がこのホテルに滞在し、一緒に行動していました。朝学校へ行く際に利用するバス停も近く、日本でのコンビニにあたる「ABC STORES」も目の前にあり、ワイキキ・ビーチにも歩いて数分で行ける最高な立地でした。ホテルの1階には洗濯機、乾燥機があり、1回3ドルで利用することができます。

このホテルに泊まって一番思い出に残っているのが、ホテルのアクティビティーです。学校がお休みで自由行動ができる日曜日に、ホテルのアクティビティー「ジップライン」に参加しました。ホテルからタクシーで1時間ほどのカポレイというところで、自然の中につけられたワイヤーロープにベルトとハーネスをつけてぶら下がり、滑車を使って滑り落ちるジップラインを体験しました！1人約100ドルで、とても楽しい体験でした！



【食事】

現地での食事は、基本的にレストランで食べ物を購入して食べるという形でした。大学によってはキッチン付きのホテルに泊まっていて、料理をしている人もいましたが、私たちは、大体お昼ご飯は学校の食堂で食べ、夜ご飯はホテル近くのレストランへ行って食べていました。お気に入りのカフェやハンバーガー屋さんを見つけ、何度もリピートしていました(^^)

現地での物価の高さに加え、円安も相まって、どれも日本と比べると安いとは言えない金額でしたが、その分とても量が多く、どれも満足度の高い食事でした！



【交通手段】

現地では、基本的に「The Bus」と呼ばれるバスで移動をしていました。「HOLA CARD」と呼ばれる青色のカードをセブンイレブンもしくはABC STORESで購入し、既定の額をチャージして利用するというものです。1回3ドルを払えば現金でも乗ることができるのですが、このカードを使うと1日に最高7.5ドルしか取られないので、遠出をする時や大学の後に買い物に行きたい私たちにはぴったりのカードでした！ネットに登録すれば、期間を限定し乗り放題のカードを購入することもできたみたいです。ちなみに、バスは運転手さんの気分や道の混雑状況によってだいぶ時間が前後することがあるので、時間に余裕を持った移動は必須です、！

10. 研修概要/編集後記

<期間>

2023年2月26日～3月12日

<研修校>

ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院

<滞在先>

OHANA Waikiki East by Outrigger

<参加人数>

7名（全5大学計約40名）

<研修費用>

約75万円（法学部制の場合8万円の助成金あり）

<単位認定>

翌年度春学期に法学部設置科目「Legal Studies Abroad C I」として2単位

※レポート提出・事前学習参加必須

<応募資格>

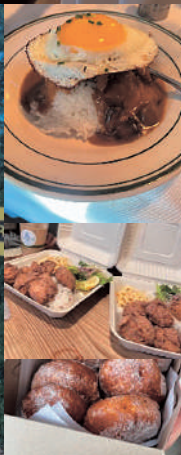
- ・本学法学部生、法学研究科生で、法学研修の授業に参加し得る英語力を有すること。
- ・募集要項や誓約書の内容に合意していること。

《編集後記》

こちらの冊子を手にとって、最後まで読んでいただきありがとうございました。

今これを読んでいる皆さんは法学部のハワイ研修に参加することを迷っている方でしょうか。参加することが決定して、期待に胸を膨らませている方でしょうか。もし迷っている人がいるなら、ぜひ参加してほしいと心の底からお伝えします。この2週間のハワイ研修では、ここ以外では得られない、いくつもの経験と学びが得られます。私たちはコロナ禍を経て3年ぶりに直接ハワイに行って、他大学の学生の皆さんと一緒にハワイ大学で学ぶことができました。「英語で法律を学ぶ」と聞くと、ハードルが高く感じてしまう方もいるかもしれません。私も、日本語でも法律の授業を理解することが難しいのに、英語でそこまで知識のないアメリカの法律を学ぶことができるのだろうか、と思っていました。しかし、現地では日本語のできる先生もいたり、日本の先生方が通訳をしてくれたりするので、何も心配はいらないと思います！かけがえのない仲間と出会い、たくさんのかげがえのない経験ができた2週間のハワイ研修でした。お世話になった先生方、ありがとうございました！

Great Memories in Hawaii





発行：明治大学法学部

www.meiji.ac.jp/hogaku/hawaii/